

「社会人講師活用型教育支援プロジェクト」(経済産業省事業)と 「理科支援員等配置事業」(文部科学省事業)の連携について

近時、将来の我が国産業界を支える子どもたちの理科離れが懸念されていることから、経済産業省では、文部科学省と連携の下、地元産業界の技術者やOB等を活用して、子どもたちが学ぶ理科と実社会を結びつけた理科授業の実施を支援します。

具体的には、文部科学省が所管する(独)科学技術振興機構が、原則として全国の都道府県・政令指定都市を対象に、外部人材を(1)「理科支援員」(教員OB、大学院生等)、(2)「特別講師」(企業技術者等)として、小学校に配置する「理科支援員等配置事業」を実施します。(下図右)

経済産業省では、「理科支援員等配置事業」実施地域において、地域の企業・NPO等の民間主体のノウハウやアイデアを活用し、(1)特別講師の発掘や、(2)地元企業の商品や技術と理科の授業の単元を結びつけたカリキュラムの作成、(3)教育界・産業界等関係機関のネットワーク構築等、円滑な事業実施を支援するため、「社会人講師活用型教育支援プロジェクト」を実施します。(下図左)

